

令和6年度 指定管理業務 実績評価シート

作成年月日 令和7年6月23日

部課名 教育委員会 生涯学習課

施設名	弘前市立図書館・郷土文学館
施設の設置目的	・図書館…生涯学習の拠点として市民の学習機会向上を図るとともに、地域における市民の教養、情報等の提供に努め、読書活動推進を図るための社会教育施設。 ・文学館…郷土出身作家等の文学作品及びこれに係る資料を収蔵・公開し、市民の教育及び文化の発展を図るための社会教育施設。
所在地	弘前市大字下白銀町2番地1
指定管理者名	TRC・アップルウェーブ・弘前ペンクラブ共同事業体
指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで

1 事業計画の実施状況

令和6年度事業計画に沿った管理運営を行っている。

2 自主事業の実施状況

弘前図書館では、新規事業として好評を博した「図書館製本講座」や「弘前図書館市民講座」、岩木図書館では「夏休み応援企画 自分だけの万華鏡を作ろう！」、こども絵本の森では「パパとじいじと えほんあそび」、郷土文学館では「新春 北の文脈文学講座『文人墨客の愛した青森の温泉の今』」などを、自主事業として企画・運営し、来館者の増加に繋げるとともに、利用者のニーズに応えていた。

3 市民サービス向上のための取組状況

弘前図書館では、SNS(公式X)を活用して市民とコミュニケーションの取れる情報発信を積極的に行つた。弘前市のマスコットキャラクターを活用して図書館サービス、蔵書点検期間中のスタッフの業務、日々の記念日等に関連する図書の紹介などを行い、図書館サービスの認知向上と浸透に努めている。

郷土文学館では、一般市民や子供たちが郷土文学に親しめるよう、来館者参加型の企画(企画展における写真・画像を生かした大型パネルやタペストリーの製作、「ぬい撮りコーナー」の新設、無料開館におけるクイズラリー、ワークショップ、「推し温泉」ランキングの実施など)を中心に工夫に努めている。また、館内で視聴できる文学DVDの制作やFMアップルウェーブでの朗読などで、文学を「楽しむ」機会を提供している。

4 市民ニーズの把握の実施状況

施設内に意見箱を設置し、利用者の意見・要望を把握するとともに、これに対する回答内容を掲示し、施設の運営に生かすよう努めている。

5 施設の利用状況 (利用者数、稼働率など)

図書館の貸出人数(貸出冊数)は、合計で90,496人(407,700冊)、前年比96.7%(96.7%)だった。郷土文学館の総観覧者数は4,426人で、前年比113.2%と増加した。

6 指定管理業務の収支状況

経費の削減に努めつつも、計画的で安定した予算執行に努めており適正に行われている。

7 実地調査の結果

施設内外の状況や各種書類の作成・保存状況はきちんとしており、施設の維持管理・運営は適正に実施されている。

8 成果指標の達成度

- ・図書館の貸出者数目標値113, 228人に対して90, 496人で目標値に対し、79.9%となった。
- ・郷土文学館では、総観覧者数の目標値4, 036人に対し4, 426人で、目標値に対し109.6%と増加した。イベントの開催や観光客の増加によるものと見られる。

9 評価

(1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	A	基準書や協定書等に則り、遅滞なく計画的に業務を遂行し、スタッフも意欲的に取り組んでいる。	利用者各層のニーズに応える方策を検討し、内容の一層の充実に取組む。
施設の管理	A	日々の施設管理に努め、避難訓練等を通じスタッフの意識も高め、利用者が安心安全に利用できるように努めた。	施設管理の充実と環境整備に努め、また資料管理にも一層の注意を払い取り組む。
経理の状況	A	市のモニタリングも踏まえ、収支状況については適正に管理できた。	適正な管理及び事務処理について、一層の注意を払い取り組む。
団体の財務状況	B	施設の運営・管理を安定して行うことのできる経営基盤を有している。	引き続き、企業・団体としての業績の向上に努め、経営基盤を強固にしていく。

(2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	協定書・基準書等に基づいて、適正に実施している。親しみやすい図書館・文学館を目指して新規に実施した自主事業は利用者の好評を得て、利用率の向上にも繋がっている。	今後も利用者ニーズを把握し、適切に管理・運営していただく。
施設の管理	B	利用者の安全や環境整備・維持管理を徹底しており、また個人情報や文書等の管理も適切に管理している。	今後も利用者が安心して快適に利用できるような管理に努めていただく。

経理の状況	B	収支状況、経費の削減、帳簿等の整理・保管については、適正に実施している。	帳簿等の適正管理と計画的な支出に努めていただく。
団体の財務状況	B	安定した経理的基盤を有している。	今後も安定した財務状況の維持に努めていただく。

【評価の視点】

評価区分	評価の視点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する